

## 6月議会一般会計予算 1億2千4百万円など 可決し閉会

6月7日から開催された議会が二十三日 提案された全ての議案を可決し閉会しました。

今議会の主な議案は少子化対策の一環として、放課後の子供たちを地域で守ろうという「子供の居場所作り事業」、東京や大阪、広島等のふるさと会を継続し、再来年には統一しようとする予算などが承認されました。また七月から掛合診療所に赴任される「赤ひげ先生」の給与条例、議員提案の道路整備の財源確保に関する意見書などを採択して閉会しました。



登録して頂いた皆さんによって放課後の子供たちを見守り、一緒に活動しようという取り組みです。

## 一般質問に 二十三議員が登壇

六月議会は一般質問に四日間、一人30分の質問時間が割り当てられました。

私も一番バッターで登壇。現状では市内が二つに分断される衆議院と県議会の選挙制度について、また市民バスの改善点、公共事業の地元受注などについて質しました。

選挙制度については、国県議会で決定されることであり、すぐに結論が出る問題ではありませんが今から取り組んで頂きたいと思います。

市民バスについては今後、右肩上がりにサービスを向上させるとの答弁でした。乞うご期待です。できるものから早くお願いしたいと思います。

公共事業は高速道路など地元企業が受注できるように努力して欲しいと思います。

市政懇談会についての質問も多く出ていました。「金がない、非常事態宣言」ばかりでなく、元気の出る話が聞きたい。と言うことです。

## 巨匠 岡本太郎が 感じた 菅谷高殿

昭和57年、島根国体が行われました。その時、県立総合グラウンドのモニュメントの制作を依頼された、あの岡本太郎氏が、菅谷高殿を訪ねています。

たたら文化をイメージしたい先生は安来和鋼博物館と、横田の「日刀保たたら」と「菅谷高殿」を選び視察されました。昭和56年初秋のころの話です。

安来 横田を視察した後、吉田に到着した先生は大変ご機嫌が悪く「菅谷高殿も変わり映えしないだろうから帰る！」と大変な剣幕であったそうです。

菅谷高殿の説明役を引き受けていた当時の教育長田部清蔵氏は何としても「菅谷高殿」を見て頂きたい、せめて車の中からでも・と説得し、ようやく菅谷に向かいました。田部さんは高殿が一望できる県道脇に車を強行に止めて、先生に車から降りてご覧頂くようお願いしました。

不機嫌そうに車から降りた先生でしたが、周囲を見回し、やがて車からカメラを持ち出して写真を撮り出されたそうです。

田部さんの熱心な説明を聞いた先生は高殿の中に入り、炉の脇に佇み興味深そうに炉や天井の梁を見つめていました。

田部さんの「炎が3メートルも立ち上った」という話に何度も頷

かれていたそうです。すっかり機嫌が直った先生は田部清蔵さんとしっかり握手して帰路に就かれました。

翌年の島根国体には、県立運動公園に岡本太郎先生制作のモニュメント「神話」が輝いていました。

岡本太郎の感性に「ピッピ」と響いた菅谷高殿。あなたの感性をお試しになりませんか。



総合運動公園にある岡本太郎作「神話」のモニュメント。たたら

## クラシック島根(ゴルフ場)

雲南市から役員派遣合併協議会で雲南市から役員の派遣をしないとの申し合わせがありました。今議会です市長から要請により役員を派遣すると表明がありました。ゴルフ場は第3セクターで設立したものであり、市の大きな財産です。厳しい中ですが、市の知恵を出して総力で健全経営に努力して頂きたいものです。

編集後記

空梅雨 猛暑です。御身大切に